

# 挿し木でダイダイ育苗

## 生産者と静大 ブランド化へ研究



ダイダイに関する研究成果を発表する厚味さん  
=熱海市渚町の熱海商工会議所

熱海市の特産品ダイダイのブランド化に向け、地元生産者と静岡大による共同研究の報告会が27日、渚町の熱海商工会議所で開かれた。これまであまり行われてこなかった挿し

木による育苗の可能性が示され、形質の安定化につながるという。同大學農学部園芸イノベーション学研究室・カンパニー（岡野谷伸一郎代表）の共同研

究で「地域連携応援プロジェクト」の一環。プロジェクトの厚味莉歩さん（3年）が発表した。

価格の低下や収量の減少、担い手不足などを解決するため、研究室の学生9人が昨年4月から研究を始めた。熱海にある岡野谷代表のダイダイ農家の課題を

厚味さんは「用途に応じた形質を持つ木を増やすことができ、熱

海ダイダイの価値向上につながること話した。

岡野谷代表によると、JAふじ伊豆あいら伊豆地区で10年前に

ダイ農家は現在80軒ほど

だが、昨年は35軒ほど減ったという。岡野谷代

表は「収穫の簡略化と価格の向上がなければ、特産品は衰退してしまいます。研究はダイダ

イ栽培が次世代や未来につながる第一歩になる」と語った。  
育てた苗の譲渡会を5月に予定するとい

木による育苗の可能性が示され、形質の安定化につながるという。同大學農学部園芸イノベーション学研究室・カンパニー（岡野谷伸一郎代表）の共同研究ではダイダイの育苗法を調べ、挿し木による苗の育成ができると明らかにした。カラチの苗木と種から育てた「実生」の苗の

研究ではダイダイの育苗法を調べ、挿し木による苗の育成ができると明らかにした。カラチの苗木と種から育てた「実生」の苗の